

北海道大学低温科学研究所 研究集会

雪氷の生態学(8) 寒冷域湿地生態系の生物群集の多様性と機能

日時:2013年11月15日(金)

10:00-17:00

場所:低温科学研究所 研究棟2階会議室

9:45-10:00 所長挨拶

古川義純(低温科学研究所)

10:00-10:05 集会にあたって

野原精一(国立環境研究所)

10:05-11:00 航空写真、衛星画像から雪氷とアカシボの抽出手法

石原範幸((株)フォテク)

UAVを使った雪氷の調査・解析技術 小玉哲大((株)フォテク)

11:00-11:55 多積雪地域尾瀬高層湿原のALOS/PALSAR データを用いた水環境

モニタリングの試み 伊藤夏希・久田泰広・小川佳子・平田成・出村裕英
(会津大学)・祖父江真一(JAXA)

11:55-12:10 総合討論(1) 落合正宏(前徳島文理大)

12:10-13:10 休憩

13:10-13:40 尾瀬ヶ原における池塘の溶存有機物特性 千賀有希子(東邦大学)

13:40-14:10 尾瀬の厳冬期アカシボ現象と地質構造 野原精一(国立環境研究所)

14:10-14:40 ビデオ顕微鏡によるアカシボ粒子の観察 藤原英史(ドキュメンタリーチャンネル)

14:40-15:10 アカシボ微生物のFISH解析 小暮耕平・小島久弥・福井 学
(北海道大学)

15:10-15:40 雪中の貧毛類 大高明史(弘前大)・鳥居高明(いであ)

15:40-17:30 総合討論(2) 福原晴夫(河北潟湖沼研究所、前新潟大)・木村直哉